

スクールカウンセラーだより11月



静岡県立遠江総合高等学校スクールカウンセラー 伏見 博美

こんにちは。スクールカウンセラーの伏見です。

さわやかな秋になりました。秋の夜長、皆さんはどのように過ごしていますか？自分の好きなこと、やりたいことに取り組めるといいですね。夏よりはゆっくり浴槽に入り、入浴したいしている人もいるかもしれませんね。ゆっくりのんびりする時間は、心にも体にもとても大切な時間です。そういう時間を一日の中で作っていきるといいですね。



今月は「**気づくこと**」と「**手当てすること**」について、お話します。

私たちの体や心は、絶えず変化しています。楽しい、くやしい、うれしい、いやだなあ……暑いな、寒いな、痛いな、かゆいな、おなかすいたな……私たちは、私たちの周りにあるストレスに敏感に反応しながら生活しています。そのような体や心を出すサインに気づくことはとても大切なことです。言葉で自分の気持ちや考えを表すことのできないとき、心の大変さが、頭痛、腹痛、食欲不振、気持ち悪いなどの現れが体に出たり、行動に出ることがあります。そういう時は、きちっと丁寧に「手当て」することが大切です。「手当て」の語源は、痛いところや具合の悪いところに実際に手を当てることです。

手のめくもり、少しでも早く良くなってほしいという思いは、目には見えませんが、見えないところには、とても大切なものがあるような……。『星の王子様』にも出てきましたね。

大切な自分、大切な家族、大切な友人のちょっとした変化に「気づき」丁寧に「手当て」しましょう。

小さな不安が積み重なっていくと、大きな不安になることがあります。自分一人で解決できないときは、周りの人に助けを求めることは、とても大切な「力」の一つです。友人や家族と話し合うことで解決の糸口がみえてくることもあるかもしれません。スクールカウンセラーもあなたを支える一人として関わっていきたくと思います。気軽に相談に来てみてください。

保護者の方もどうぞ

お子様の様子で何か気がかりなことがございましたら、気軽に担任の先生や教育相談担当の先生を通して予約を入れてください。一緒に考えていきましょう。

11月の相談日

18日

13:00～17:00